



くすのき



令和2年(2020年)6月9日

No.5


「志津小 熱中症事故の防止に向けた対策」について

ここ数日、急激に気温が上昇してまいりました。今年度も猛暑が予想されると共に、マスクを着用しておりますことから、暑さ対策等を慎重に実施していかなければなりません。本校では熱中症による事故防止に向け、次のように対応いたします。

さらに、新型コロナウイルス感染症への対応についても、引き続き十分な警戒を行い、手洗いや咳エチケットなどの基本的な防止対策を徹底するとともに、今後も教育活動に必要な体制を整えてまいります。保護者・地域の皆様方には、お手数をおかけいたしますが、御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。



1. 学校への持ち物について

<p>(1) 必ず学校に持ってくるもの</p> 	<p>①水筒(お子様と相談していただいて、十分な量のお茶・水・スポーツドリンク等を用意してください。量の調整が難しい場合は、午後用と合わせて2本持たせていただいてもかまいません。足りない場合、学校で十分な補充はできませんのでご理解をお願いします。)</p> <p>②汗拭きタオル</p> <p>③黄帽、体育の際の体操帽</p>
<p>(2) 登下校の際に、使ってもよいもの</p>	<p>①日傘</p> <p>②濡らして首に巻くような保冷ベルト</p> <p>③濡らしたタオル</p> <p>④保冷剤</p> <p>●いずれも壊れたり、なくなったりしても困らないものとします。個人の責任として必ず記名をしてください。学校では管理しません。</p>
<p>(3) 学校には持ってこないもの</p>	<p>①うちわ</p> <p>②扇子</p> <p>③携帯用扇風機</p> <p>④冷却スプレー 等</p>

★校外で長時間活動する際には、その都度担任から「熱中症予防のための準備」として別途連絡させていただきます。ご了承ください。





2. 学校生活における熱中症対策

施設や準備物について

場所	対策の内容
(1) 教室・特別教室	<p>①コロナ感染防止対策のため冷房中においても換気を行います。基本的には冷房をつけます。</p> <p>②教室内部の空気を循環させるため、扇風機を活用します。普通教室には1台・特別教室には2台設置します。</p>
(2) 体育館	①スポットクーラーを2台設置します。(7月下旬設置完了予定)
(3) 運動場	②テントを設置し日陰をつくります。テントには、簡易ミストシャワーをつけ、気化熱を利用して体温上昇を防ぎます。
(4) 職員室	<p>①「熱中症対策グッズ」を準備し、体育や校外での活動時に、いつでも対応できるようにしておきます。</p> <p>【熱中症対策グッズ(クーラーボックス)の中に準備しているもの】 ・冷却剤(水・保冷剤等) ・経口補水液 ・食塩 ・体温計 ・紙コップ ・うちわ ・タオル ・霧吹き 等</p>



子どもたちへの指導について

対応者	対策の内容
(1) 学級担任 (授業者) 	①子どもの健康状態を把握するように努めます。 ②子どもたちには、体調が悪くなったら自分ですぐに教員や周りの友だちに言うように指導します。熱中症のサインについても、子どもたちに指導をします。 ③熱中症情報の測定値等を参考にしますが、その値だけを過信せず、子どもの様子や体感温湿度により適切な対応を行います。 ④授業前後の水分補給を行い、学習や活動の途中でも、随時日陰での休憩・給水を取り入れながら、無理のない運動や学習を心がけます。 ⑤場合によっては、屋外での運動を見合わせるなどの対応をとります。
(2) 校長・教頭・ 教務・ 養護教諭 	①毎日、志津小学校の校庭や体育館の暑さ指数(WBGT)を計測します。 ②毎日、暑さ指数について環境省が提供している「環境省熱中症予防情報サイト」より情報を確認し、実測値、予想値については、全教職員に知らせます。 ③熱中症情報について、子どもに校内掲示板で知らせたり、校内放送で注意を呼びかけたりします。 ④環境省や日本スポーツ協会が示す「熱中症予防のための運動指針」に則って対応するように各担任等に連絡します。(下表参照)

★対応によっては、体育やクラブ活動等の校外での授業内容を変更したり、時には授業を中止としたりすることがありますが、子どもたちの安全を第一に考えた対応ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

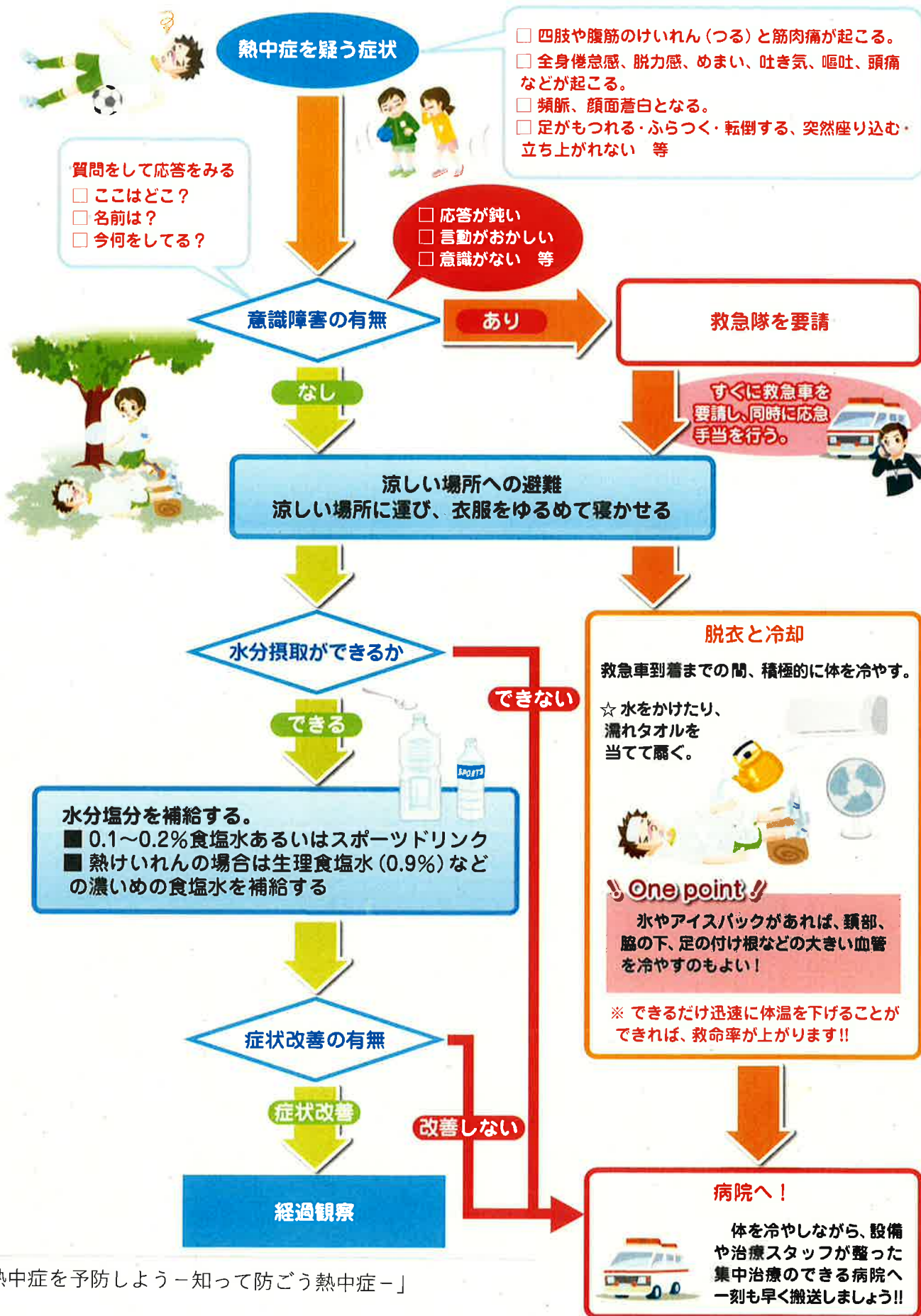
● 運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。 
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

熱中症対応フロー



「熱中症を予防しよう - 知って防ごう熱中症 -」



令和2年度の 熱中症予防行動

環境省
厚生労働省
令和2年5月

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

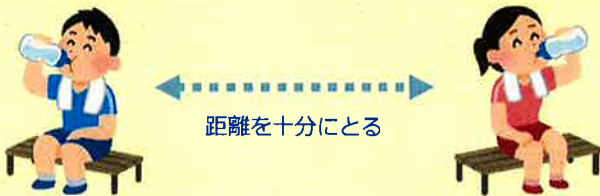
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



環境省



厚生労働省

新型コロナウイルス感染症に関する情報：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

熱中症に関する詳しい情報：<https://www.wbgt.env.go.jp/>

